

Teams 『発表者モード』

発表者モードとは、Teams会議の発表者を画面共有の画面内に表示して、参加者の興味を持続させたり集中力を高める働きをします。

発表者モードは3種類あります。

■スタンドアウト



画面やウィンドウの共有コンテンツと発表者を同時に表示します。

■左右に並べて表示

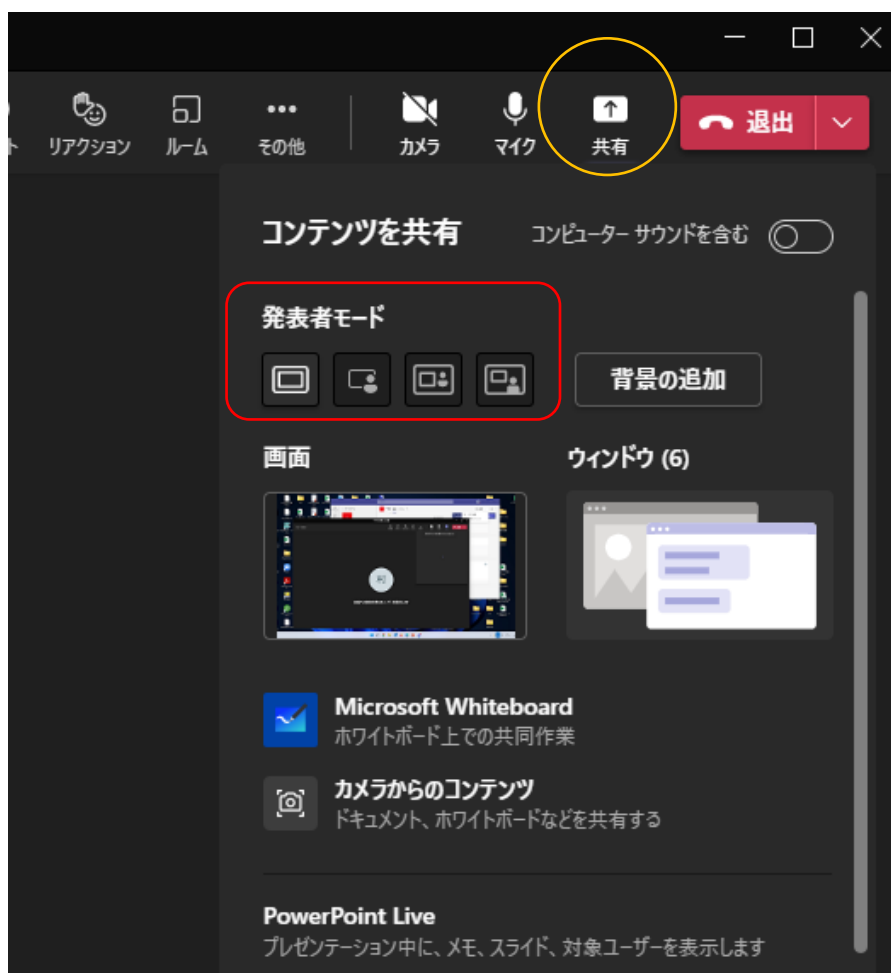


共有コンテンツの画面と発表者の画面を横に並べて表示します。

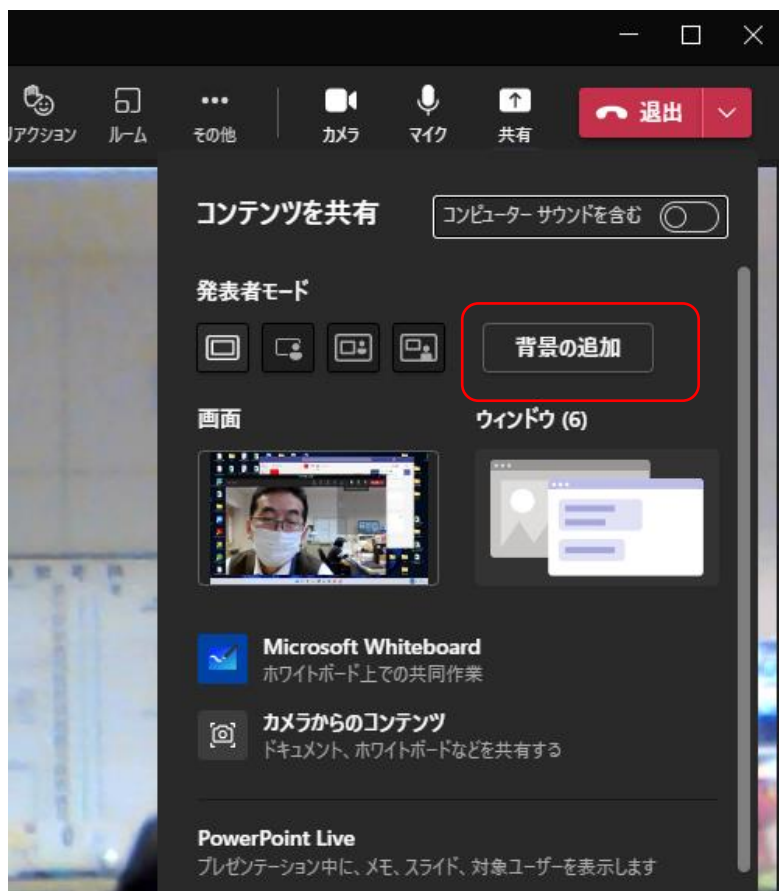
■ 報告者



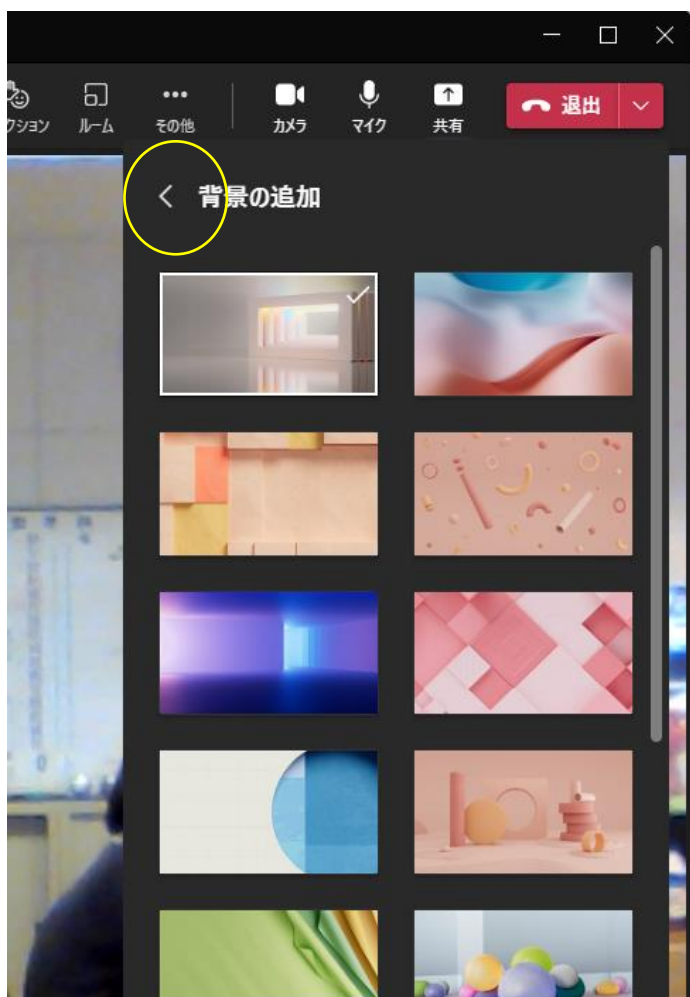
レポートの様態で、共有コンテンツの解説者的な発表者表示をします。



会議を開始して、「共有」をクリックすると下に開いた画面の中に「発表者モード」が選択できるようになっています。



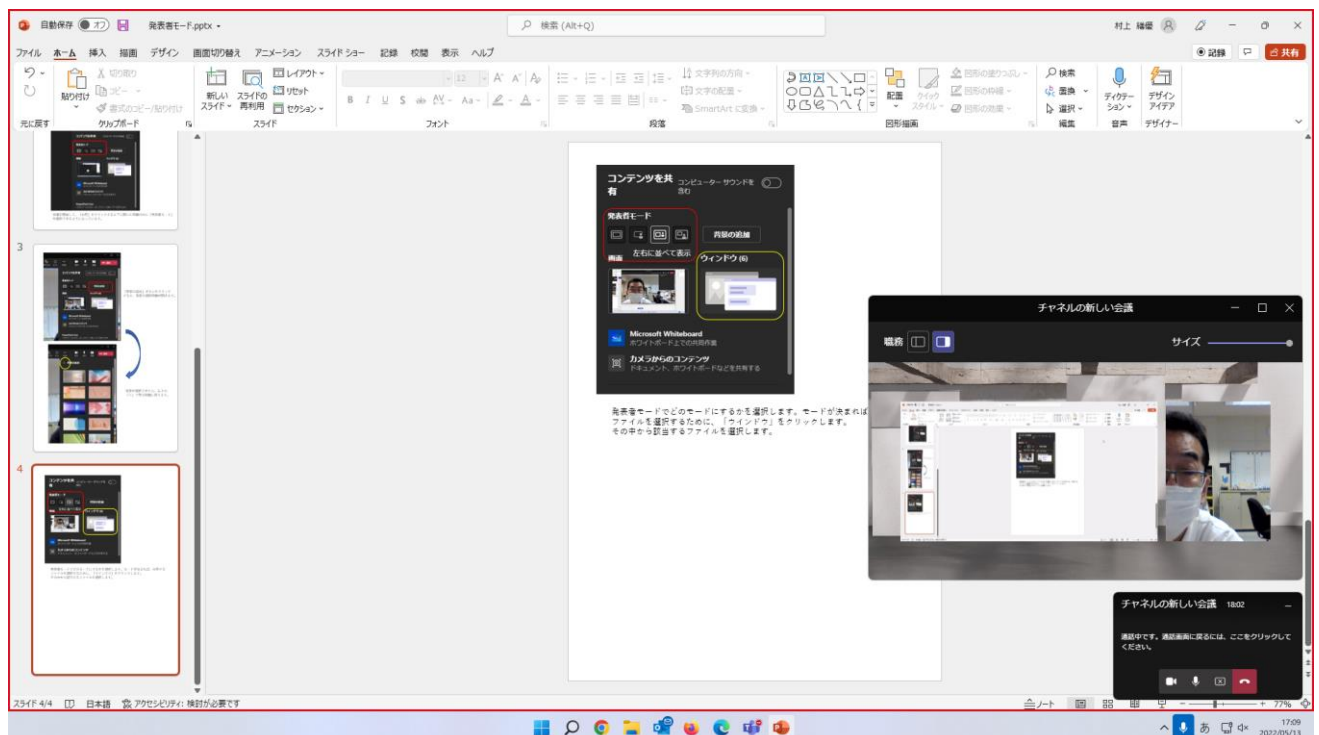
「背景の追加」 ボタンをクリック
すると、背景の選択画面が開きます。



背景が選択できたら、左上の
「<」で元の画面に戻ります。



発表者モードでどのモードにするかを選択します。モードが決まれば、共有するファイルを選択するために、「ウインドウ」をクリックします。
その中から共有するファイルを選択します。



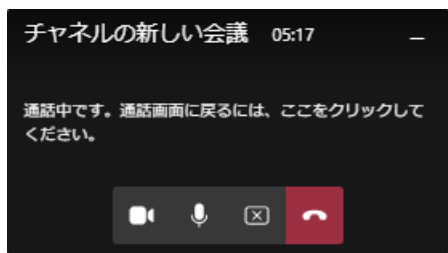
いくつかの画面に分かれた表示になります。
この状態で、赤枠がついた画面が資料として共有されています。



「ビューを編集」の画面は、参加者にどのように見えているかを確認、修正するものです。3つのモードを別のものにするには、画面の上部のメニューバーで変更が可能です。



メニューバーは、画面の上部にマウスのカーソルをもっていくと表示されます。



小さい画面は、会議本体のリモコン的な操作画面です。クリックすると、元の会議に戻ります。画面共有が終わったタイミング等で元の会議画面に戻るときに使います。

この「発表者モード」は更に細かい設定が多くあります。各モードで発表者の見え方を調整したりが可能です。是非たくさん操作してみてください。これまでのTeams会議が大きく変わります。ただし、このモードに合わせた資料の作成も必要です。ネット上には多くの情報が確認できます。進化したTeams会議をお楽しみください。